丹波市社協広報

ふくしほっと通信

2026 9月 132号



中央地区「和（なごみ）」サポート会議とは？

高齢者が安心して暮らせる地域を目指し、中央地区では令和元年から、住民の皆さんや社協、西部地域包括支援センターが、地域でどのような取り組みが必要かを話し合っています。

その取り組みの一つとして、「認知症でも安心して暮らせる中央地区」を目指し、認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のマリーゴールドを地区内に咲かせる活動が行われました。

マリーゴールドの種は中央地区内の各家庭にも配布され、花壇などさまざまな場所で花が咲き、中央地区をやさしく彩りました。

中央地区「和」サポート会議について詳しくは、P8「ほっとさん」をご覧ください。

よりそい・うけとめ・ほっとかへん
社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会
この広報は、皆さまにご協力いただいた社協会費により発行しています。

「知る」から始まる災害への備え。

今年に入ってから、地震や豪雨、台風など、全国各地でさまざまな災害が相次いで発生しています。被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

丹波市でも、平成26年の丹波市豪雨や平成30年７月豪雨（西日本豪雨）の際、丹波市社協では災害ボランティアセンターを設置し、市民の皆さまをはじめ全国各地から駆けつけたボランティアの力が、被災された方々にとって大きな支えとなりました。

こうした経験を踏まえ、災害時に迅速かつ円滑な支援活動を行うためには、日頃からの備えと、支援活動を担う人材の育成が欠かせません。そこで丹波市社協では、災害ボランティアとして必要な知識や技術を基礎から学ぶことを目的に、「災害ボランティアトレーニング講座」を開催しました。市内で災害が発生した際の活動はもちろん、全国各地で発生する災害にも対応できる力を身につけることを目指した内容とし、これまでの受講者もさらに学びを深められるよう、実践的なプログラムを取り入れました。

本特集では、災害ボランティアセンターの役割や講座の内容、参加者の声から、災害ボランティアを行う上で必要な心構えや、一人ひとりができる災害ボランティアについて考えます。

災害ボランティアトレーニング講座の実施

公益社団法人ピースボート災害支援センター 関根（せきね） 正孝（まさたか）氏に、両日講演いただきました。

災害ボランティアセンターを体験しよう（６月 26 日実施）

災害ボランティアセンターにおけるマッチングや活動中に発生しうるトラブルなどをテーマとしたシミュレーションゲームを実施。災害ボランティアセンターの仕組みや現場で起こりうる状況を体験的に学ぶ機会となりました。





災害ボランティアリーダー研修（７月 24 日実施）

＼両日参加者には 修了証を交付／

実際の災害現場の事例をもとに、「現場での判断や対応」「活動時に必要となる視点」「周囲のボランティアへの配慮や安全管理」などについて講師からお話しいただきました。

災害ボランティアセンターとは（以下、災害ボラセン）

地震や台風、豪雨などの災害発生時に、多くのボランティアが被災地へ支援に駆けつけますが、そうしたボランティアの方々を受け入れ、被災者のニーズとつなぐ窓口です。
（※災害ボラセンは、災害ボランティアや地域住民とともに被災者の自立支援を行います）



いざという時のために共に地域の防災力の向上を！

丹波青年会議所と「災害時応援協定」を締結

令和８年６月４日



災害発生時の連携を強化し、人的支援や情報共有を円滑に行うとともに、平時からの連携を深めることを目的として、丹波市社会福祉協議会は丹波青年会議所と「災害時応援協定」を締結しました。

この協定により、災害時における迅速な支援体制の構築に加え、平時からの情報共有を進め、地域の防災力向上を図ります。

■丹波市以外で災害が発生し、ボランティアの募集などを行う場合

丹波市社協では、被災地支援活動を行いたい市民の思いを後押しできるよう、下記のような支援を行っております。

- **「ボランティアバス運行支援」**…ホームページや公式 LINE（丹波市社協 災害ボランティアセンター）を活用して情報を発信し、募集を行います。

公式 LINE アカウント
（丹波市社協災害ボランティアセンター）

・災害ボランティアに関する講座の情報
・被災地へのボランティアバス情報　など
災害に関連する情報を発信しております。

丹波市社協 HP「各種様式ダウンロード」内、「災害ボランティア支援事業」の要綱はこちら

- **「災害ボランティア支援助成金の交付」**…市民活動団体等が行う大規模災害に係る被災地支援活動に対して、助成金を交付します（被災地までの交通費）。詳細については右記、二次元コードより「災害ボランティア支援事業実施要綱」をご確認ください。

インタビュー

災害ボランティアトレーニング講座へ両日参加いただいた参加者の方へお聞きしました。

被災者に寄り添うために。経験を重ね、学び続ける。

村上　五郎さん



退職後に時間ができたことをきっかけに、社協のおでかけサポートの仕事の経験を通じて「地域や社会の役に立ちたい」という思いが強くなり、災害ボランティア活動（H28熊本地震や能登半島地震等への災害ボランティアバス運行への参加）へ参加するようになりました。今回の講座に参加したのは、災害ボランティア活動をより安全に、被災者に寄り添った形で行うために必要な知識を身につけたいと考えたからです。災害ボランティアに関する講座への参加は今回が初めてで、単に作業を行うだけではなく、自分も含め活動を共にする仲間の安全管理や被災者への接し方、被災者の気持ちに寄り添うために言葉遣いの大切さを学んだことが特に印象に残っています。

また、グループワークを通じて様々な意見を聞き、仲間と話し合いながら判断することの重要性を実感し、初心者でも経験者でも講座を受けることで新たな気づきがあり、被災地での活動に役立つと感じました。

災害ボランティアを続けるためには健康が何より大切だと考え、日頃からランニングや水泳などで体力づくりにも励んでいます。健康を維持し、これからも地域や被災地で少しでも役に立つことができればと思っています。

村上さんは「被災者に寄り添う気持ちを忘れず､冷静に状況を見極めながら支援することが大切」とも話されていました。発災後すぐに駆け付けたいという思いがあっても、被災地の体制が整うまで待ち、今できる備えを続けながら、適切な時期に支援を行えるように備えることも災害ボランティアの大切な考え方ですね。

地域貢献の新たな一歩。～災害ボランティアについて学ぶ～

みなと銀行　柏原支店　（左から）若狭　喜久子さん、中山　朝賀さん、林　茉絢さん



みなと銀行では、「地域のみなさまとともに歩みます」という経営理念のもと、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。今回、柏原支店が災害ボランティア講座に参加したきっかけは、社内で災害時の対応や避難場所について定期的に確認する機会がある中で、新聞で本講座の記事を目にしたからです。ボランティア活動についての知識を深めることで、災害が起きた際に自分たちに何ができるのかを考えたいと思い参加しました。

受講前は、災害ボランティアについて具体的なイメージを抱けていませんでしたが、グループワークなどを通じて、実際の活動内容やボランティアリーダーの役割を知ることが出来ました。また、災害時に必要となる支援について理解が深まり、これまで身近に感じていなかったボランティア活動への関心が芽生えました。災害はどこの地域でも起こりうる事象であり、不測の事態に備え、我々にできることからアクションし、微力ながら地域のためになれればと考えています。

今回の学びを活かし、これからも地域の一員として、災害時のみならず支え合いの活動に取り組んで参ります。

今回の講座への参加を通じて、みなと銀行と社協がつながるきっかけとなりました。災害時は、現地へ向かうだけでなく、情報を知ることや必要な支援を届けることも大切です。今後も災害時の支援に関する情報共有など、地域で支え合う関係を築いていきます。

災害支援ボランティア活動について

■ボランティア活動保険について ～事前に「ボランティア活動保険」へ加入しましょう～

被災地でのボランティア活動では、予期せぬ事故によりケガを負ったり、他者に損害を与えて賠償責任を問われる場合があります。
活動前に「ボランティア活動保険」への加入が求められています。
丹波市社協の窓口、または、WEB より申込が可能です。

WEB からの加入については、「ボランティア活動を希望する方へ」をご覧ください。

① 丹波市社協の窓口にて取り扱っている保険…**兵庫県社会福祉協議会のボランティア活動保険　「ボランティア・市民活動災害共済（天災危険補償プラン）600 円」**
② WEB より加入が可能なもの…**全国社会福祉協議会のボランティア活動保険「ボランティア活動保険（災害危険補償プラン）500 円（クレジットカード決済のみ対応）」**

※丹波市社協の窓口では、全国社会福祉協議会のボランティア活動保険は取り扱っておりません。予めご了承ください。

令和8年度　法人・賛助会員のご紹介 〈敬称略／順不同／令和8年7月末時点〉

令和８年度丹波市社協法人・賛助会費のご協力をお願いしましたところ、多くの皆さまにご賛同いただきました。誠にありがとうございました。
皆さまからお寄せいただいた会費は、地域福祉活動の貴重な財源として大切に活用いたします。
今後も地域福祉の推進に努めてまいりますので、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

法人会員

柏原地域	株式会社いそもく
	特定非営利活動法人かたくり
	株式会社ヒツジヤ　リバティ
	株式会社田口綜合事務所
	柏原神姫自動車工業
	石見サービス株式会社
	株式会社足立鉄工
	兵庫トヨタ自動車株式会社　柏原店
	医療法人社団　松下泌尿器科医院
	合資会社氷上牛乳社
	谷水歯科クリニック
	税理士法人プレシャスパートナーズ
	社会福祉法人恩鳥福祉会
	株式会社保険事務所リライアンス
	丹有法律事務所
	株式会社吉竹工務店
	アイカ工業株式会社
	株式会社たんぽぽ
	株式会社デンテックス
	有限会社サンオート柏原
	株式会社関西旅行社
	株式会社システム厨房シンワ
	兵庫県信用組合　柏原支店
	生活協同組合コープこうべ コープ柏原
	株式会社丹波新聞社
氷上地域	合同会社氷上オリコミセンター
	タイヤショップフジワラ
	田中歯科クリニック
	医療法人社団　わく歯科医院
	中兵庫商事株式会社
	株式会社片山商店
	株式会社清水保険事務所
	デイサービスセンターぱうむ
	太田自動車株式会社
	合同会社カドノ自動車
	株式会社ステーキハウス松葉
	豊島鉄工
	株式会社ネクステ
	株式会社山本建設
	氷上観光有限会社

氷上地域	有限会社氷上観光タクシー
	株式会社由良工務店
	丹波とれとれ市　ひかみ四季菜館
	株式会社近畿興産
	株式会社氷上製作所
	オーケイ電設株式会社
	社会福祉法人青葉福祉会
	あおぞら薬局　ゆめタウン店
	有限会社ほのぼの薬局
	スマイル
	有限会社看広
	丹波ひかみ森林組合
	丹波トラック運輸事業協同組合
	社会福祉法人氷上町福祉会
	社会福祉法人氷上町福祉会 認定こども園いくさと
	社会福祉法人氷上町福祉会 認定こども園さちよ
	社会福祉法人氷上町福祉会 認定こども園ふたば
	社会福祉法人氷上町福祉会 認定こども園ぬぬぎ
	株式会社エーテック
	有限会社コタニ設備
	株式会社酒井電気建設
	氷上自動車工業株式会社
	デイサービス笑楽・幸
	デイサービス笑楽・福
	御食事処夫婦橋
	三菱電機社会インフラ機器株式会社
	キクヤ株式会社
	医療法人社団　清風会　香良病院
	株式会社太陽
	有限会社カスガ堂
	医療法人社団淳清会　吉積クリニック
	あせい歯科
	丹波ひかみ農業協同組合
	丹波市商工会
	株式会社タンバンベルグ
	中兵庫信用金庫

青垣地域	イクジウッド株式会社
	田中歯科
	あおぞら薬局　青垣店
	株式会社おぐら
	株式会社アシダコーポレーション
	社会福祉法人青垣福祉会 認定こども園あおがき
	社会福祉法人敬寿記念会
	有限会社アルファ電子
	丹波ケーブル株式会社
春日地域	社会福祉法人春日福祉会
	医療法人社団紀洋会
	株式会社杉本設備
	荻野建設株式会社
	株式会社芦田石油
	株式会社吉住工務店
	丹波ふるさと振興株式会社
	三井庄細見医院
山南地域	有限会社まるいし薬局
	社会福祉法人山路福祉会
	株式会社オートショップタカスギ
	株式会社ささめ針
	社会福祉法人五輪福祉会
	兵庫パルプ工業株式会社
	山南合成化学株式会社
市島地域	竹田地区自治振興会
	吉見地区自治振興会
	前山地区自治振興会
	鴨庄地区自治振興会
	美和地区自治振興会
	一般社団法人前山　さきやま苑
	協栄運輸株式会社
	株式会社市島自動車
	社会福祉法人竹山愛育会 認定こども園あいいくの丘
	株式会社ゆら
	株式会社大塚工場
	一般社団法人MKYガーデン ほのぼの介護
	山名酒造株式会社
	理研電線株式会社　市島工場
	大和特殊硝子株式会社　市島工場

賛助会員

柏原地域	氷上地域	春日地域		市島地域	
けやきクリニック	徳田　隆代	瀬尾　せつ子	田村　ひろ子	芦田　恒男	井上　敏

子育て応援団

ファミサポ通信

ファミリーサポートセンターとは、「子育てを応援してほしい方」と「子育てを応援したい方」が登録し、地域の中でお互いに子育てを支えあう会員の組織です。

お問い合わせ　電話70-2244

子育て支援講習会（食育講座）



講師　Cocopan　細見　こころさん

オリジナルパン作り講座を実施しました！

パン作りを楽しみに来てくれた子どもたちが、たくさん参加してくれました。自分が作りたい形を丁寧に作りながら、「なにをいれようかな…」と具材選びも悩みつつ、楽しんでいました。

焼き上がりを待つ間もわくわくした様子で、出来上がりを心待ちにしていました。焼きあがったパンはとてもいい香りで、「おいしい！」の声があちこちから聞こえてきました。







参加者の声（アンケートより）

たのしかった！おいしかった♪
かたちをつくったり、いろいろな ぐざい を えらぶのがたのしい！（小学生）

同じ子育て世代のママさんや、小学生の子どもたち、保護者の皆さんとお話しながらとっても楽しくパン作りができました。

ファミサポ交流会、講習会について

交流会は、親子で楽しんだり、子育て中の方同士が気軽におしゃべりできる場です。
講習会では、子育てやファミサポ活動に役立つ内容を楽しく学べます。託児もありますので、小さなお子さんを預けて講習会に参加することもできます。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

地域の居場所みーつけた　みんなでつくるカラオケ喫茶ゆうゆう

～「また行きたい」が続く場所～

ハートフルかすがで開催している「カラオケ喫茶ゆうゆう」。
歌って、笑って、しゃべって、楽しい時間をみんなで過ごしています。
歌うだけでなく、誰かと話したい…
そんな気持ちが、外出・交流・介護予防・孤立防止につながります。



参加者の声

- たくさん来られているので歌は２番目までだけど、聞くのも楽しいです。（国領・男性）
- 友人と誘い合って５回目の参加です。地域では毎週いきいき百歳体操もやっています。（船城・女性）
- はじめてきました。一人で歌うのは恥ずかしいけど、みんなと一緒に歌うことや話をすることは好きです。（春日部・女性）

「歌と居場所 LABO（ラボ）」～地域のみんなが主役の居場所作り～



このカラオケ喫茶を一緒につくっているのが「歌と居場所 LABO」のみなさん。「楽しいことを考えたい」「こんなふうにやってみたい」…話し合いながらカラオケ喫茶ゆうゆうを作っています！
一緒にこの場所を盛りあげていきませんか？
一緒に活動していただける方・興味のある方は、お気軽にお問い合わせください！

丹波市社協東部支所　電話 74-0477

歌と居場所 LABO の声

- ボランティア活動というより、自分自身が楽しいので来ています。
- 特に夏や冬は外出が減りがちなので、閉じこもり防止になると思います。カラオケ喫茶ゆうゆうに来て、地域で元気に暮らせるようにしたいですね。

ほっとニュース



赤い羽根共同募金運動は、
今年度で80回目を迎えました!

世界にひとつだけの募金箱　～オリジナル募金箱づくり～





社協が毎年実施しているサマーボランティア活動の１つとして、小学生を対象に「赤い羽根共同募金の募金箱づくり」を行いました。
小学生10名が参加し、中学生５名がボランティアとして小学生のサポートをしました。

はじめに、赤い羽根共同募金について学び、集まった募金が地域の福祉活動に活用されていることや、丹波市では昨年度、12,111,992円の募金が寄せられたことを紹介しました。一人ひとりのやさしい気持ちが地域の支えにつながっていることを知る機会となりました。

講師は、社協のレクリエーション講師として登録され、アフタースクールなどで自作の工作キットを使った活動をされている齋藤詠空（ESAKU）さんをお迎えしました。

今回の募金箱は、「寄付いただいた方の想いが、誰かのもとへ届くように」という願いを込め、ポストの形にデザインされています。段ボールで作られたポスト型の募金箱キットを使い、組み立てからデコレーションまで、子どもたちが思い思いに取り組みました。

「どんな募金箱にしよう？」と考えながら、色を塗ったり、飾りをつけたり。一人ひとりの想いや工夫が詰まった、個性豊かな募金箱が完成しました。

参加した小学生からは、「組み立てながら、どんどん形ができていくのが面白かった」との声も聞かれ、楽しみながら募金箱づくりに取り組んでいました。



完成した募金箱は、今後、市内のお店などに設置させていただく予定です。

寄り添う聴き方を学ぶ　～傾聴講座を開催しました～



地域内の見守り活動やボランティア活動に活かしていただくため、公認心理師の中川広佳様を講師に迎え「聴く力＝傾聴」をテーマにした講座を開催しました。

講座では、アクティブリスニング（積極的傾聴）について学び、「相手を理解したい」「知りたい」という気持ちで、言葉や気持ちに関心を寄せながら、意識的・能動的に「聴く」ことの大切さを考えました。
聴き手・話し手の体験を通して、自分自身の普段の聴き方を振り返る機会にもなりました。

参加者からは、「話を聞いてもらうと嬉しかった」「家庭の中でも実践していきたい」「理解はできるけど、実践は難しい」といった感想があり、相手の話をじっくり聴くことの難しさを感じながらも、日々の生活の中で実践してみるという声も聞かれました。

今回の講座で学んだ「聴く力」を、家庭や身近な人との関わりだけでなく、地域での見守り活動やボランティア活動にも活かしていただきたいと思います。

福祉の情報

映画上映会『大きな家』＆トークイベント

北摂・丹波地区里親会事務局里親支援センターウェルこころ　TEL：072-755-7118

里親支援センターウェルこころでは、児童養護施設で暮らすこどもたちの日常を描いたドキュメンタリー映画『大きな家』の上映会を開催します。上映後には地域の児童養護施設長によるトークも予定しています。また、12月19日にはトークイベントを開催します。

映画とあわせて、こどもたちを取り巻く環境や里親制度について理解を深める機会として、ぜひご参加ください。

■11月28日（土）「映画上映会」・エビスシネマ　10:00～・メガエビス　14:00～ 参加無料（要申込）
■12月19日（土）「トークイベント」・柏原住民センター

お申込み・詳細はこちら

里親支援センター
ウェルこころHP

皆さまからの優しさを地域につなぐ

善意銀行の報告

令和８年７・８月受付分

善意銀行では、市民の皆さまからの「地域のために使ってほしい」という思いのこもった預託（金銭や物品、技術）をお預かりし、地域福祉のために大切に活用しています。
預託の受付は、本所・各支所・分室でお受けしています。
皆さまのあたたかい善意をお待ちしています。

柏原地域

【物品預託】

匿名　様　衣料品

氷上地域

【金銭預託】

沼　明昌あすなろ会　様　2回
新　郷　上市場観音講　様　5,000円

【物品預託】

匿名　様　野菜　1回
下新庄　農事組合法人　丹新つなぐ様　米　300kg
熊本地震 被災者の方へ

青垣地域

【物品預託】

匿名　様　米

春日地域

【金銭預託】

黒　井　大槻　佐知子　様　2回
匿名　様　1件

【物品預託】

平　松　滝本　幹雄　様　野菜　4回
匿名　様　野菜　3回
匿名　様　子ども用玩具
フードドライブのお礼として

山南地域

【金銭預託】

冒険投資家　岡崎　健一　様　20,000円

【物品預託】

清水　ひとみ　様　日用品

市島地域

【金銭預託】

匿名　様　1件

＊預託内容等の掲載については、本人の意思を確認しています。預託理由については、一部省略しています。
＊金銭預託は寄付金控除の対象になります。

丹波市社協善意銀行　ありがとうのコーナー

皆さんの善意、こんなふうに届いています!

バリアフリー映画上映会を開催しました！

８月１日（土）、２日（日）に氷上町成松にある「ヱビスシネマ。」にて、バリアフリー映画上映会を開催しました。

バリアフリー上映とは、映画の鑑賞時に、見えない、聞こえない、車椅子で劇場に入れないなど、障がいの有無に関わらず映画をお楽しみいただけるように、字幕表示やアプリによる音声ガイドのサポート、途中の入退場や立ち歩き自由、劇場内の照明明るめ、音量控えめなどの鑑賞における障壁（バリア）を除いて上映することです。



上映前のようす

普段、病気や障がいを理由に映画館へ行くことを遠慮されているお子さまやご家族の皆さまに気兼ねなく映画を楽しんでいただくことを目的としています。

参加された方からは、「普段、周りに迷惑にならないように気をつかってばかりなので、こういう場所が本当にありがたいです」「暗闇が怖い・苦手、大きな音が苦手などあるため、ちょうどよい音量や明るさで安心した表情でみていました」などの声をいただき、楽しんでいただきました。

この上映会は、市民の皆さまからお寄せいただいた善意銀行への寄附金を活用しました。皆さまの心温まる善意に心より感謝申し上げます。また、全面的に協力いただきました「ヱビスシネマ。」様にも感謝申し上げます。

相談予定カレンダー

▶相談時間　午後１時～午後４時
（全６枠の内、１枠 30 分）

▶予約受付　電話 86-7171
予約受付時間
午前８時 30 分～午後５時 15 分
※土日祝除く

弁護士による無料法律相談日の予定です。（予約制）

相談日	開催場所	予約開始日
10月13日	柏原福祉センター	9月30日
10月27日	社協西部支所（氷上町香良42）	10月14日
11月10日	青垣住民センター	10月28日
11月24日	春日福祉センター	11月11日
12月 8日	山南福祉センター	11月25日

《よろずおせっかい相談所》　市内社会福祉法人で日常の悩みや不安等のさまざまな相談を受け付けています。

わたしのまちの ほっと さん 第26回

中央地区「和」サポート会議メンバーの皆さん(表紙)と中央地区の皆さん(氷上地域)

令和６年からの取り組み

『認知症でも安心して暮らせるまち中央地区』
をスローガンに主に３つの取り組みを実施されています。

①認知症について正しく学ぶ機会づくり
⇒地区内での『認知症みんなで考える講座』の開催

②認知症支援の啓発
⇒啓発カラーであるオレンジ色の花（マリーゴールド）を地区内に咲かせる活動

③社会参加の場づくり
⇒認知機能の向上を目的としたｅスポーツでの交流機会を実施





↑中央地区内にマリーゴールドを植栽されています





↑地区内コミュニティカフェ参加者とボランティアの方がマリーゴールドの種のパッケージ詰めをしています



↑中央小学校の児童がマリーゴールドの種をプランターに植えています



↑中央小学校の児童が福祉学習で、「認知症みんなで考える講座」受講とオリジナルの啓発バッジをつくっています

ご案内

社協福祉大会2026

入場無料

日にち　**11月14日（土）**
時　間　**13:30～16:00**
（開場 13:00～）
会　場　**丹波市春日文化ホール**
（春日町黒井 496 番地 2）
定　員　**400名**（申込不要・先着順）
その他　手話通訳・要約筆記あり



漫才師　レギュラー

プログラム
式　典　表彰・あいさつ
講演会　レギュラーの知っておきたい介護の話！

お問い合わせ　地域福祉課　電話 86-7171

福祉バザー

※買い物袋をご持参ください。
売り切れ次第終了。

地域の皆さまから、ご家庭にある未使用品や野菜等を提供いただき、福祉バザーで販売した収益金を翌年度の地域福祉活動に活用します。また、福祉バザーを通じて、地域の皆さまに福祉活動に参加いただくこと、社協を啓発することも目的としております。

開催日時	地域	会　場
10月10日(土)　10:00～12:00	氷上	氷上住民センター
10月24日(土)　10:00～12:00	山南	山南福祉センター（さんなん荘）
11月　3日(火･祝) 11:00～13:00	市島	ライフピアいちじま
11月　7日(土)　13:00～14:30	柏原	柏原福祉センター（木の根センター）
11月　7日(土)　10:00～12:00	青垣	青垣住民センター
11月　7日(土)　9:30～12:00	春日	春日福祉センター（ハートフルかすが）

よりそい・うけとめ・ほっとかへん
社会福祉法人 丹波市社会福祉協議会

ホームページ　フェイスブック　Instagram

■本　　所　(0795)86-7171　丹波市柏原町柏原2715
■南部支所　72-1236　■南部支所　山南分室　77-2359
■西部支所　82-4613　■西部支所　青垣分室　87-0084
■東部支所　74-0477　■東部支所　市島分室　85-0517